

年頭のごあいさつ



美浦村長
中島 崇

新年明けましておめでとうございます。
令和二年の新春をお健やかに迎えること
と心よりお慶び申し上げます。

昨年5月に今上天皇が即位され、新元号の『令和』となり初めての年明けとなりました本年も、「人と自然が輝くまち みほ」の村政運営の先頭に立ち、執行部と村議会の総合力を生かし、長い歴史が育んできた美浦村の文化を守りながら、皆さまと共に歩んでまいりたいと存じます。

さて、昨年を振り返りますと様々な出来事がありました。近年増加している自然災害は、昨年も日本各地に大きな爪痕を残しました。特に、9月から10月にかけて発生した台風15号、台風19号、そして台風21号に伴う大雨で関東地方、東北地方はこれまでに経験したこ

とのないような強風と豪雨に見舞われ、100人をも超える尊い命が奪われるとともに、記録的な大雨は河川の氾濫や堤防決壊を引き起こし、多くの建造物に被害を及ぼし、今もなお避難生活を余儀されている方もおります。

私たちは、今まで予期しなかった想定外の自然災害がどこにでも起こり得ることを認識せねばなりません。その上で、有事の際にも「備えあれば憂いなし」の予防、防災訓練など、住民参加型の訓練を実施してまいります。

さて、昨今の経済状況に目を向けてみますと、昨年10月には、これまで二度にわたって増税時期を延期してきた消費税率が8%から10%に引き上げられるとともに軽減税率が導入されました。そのような状況の中で7月に行われた参議院議員通常選挙は、投票率が24

年ぶりに50%を割るといふ結果となってしまうことから、国民の興味をひくような、確かな政策の実行を期待したいものです。

一方で明るい話題もありました。9月から11月まで日本を会場として行われたラグビーワールドカップで日本代表は、チームスローガンである『ONE TEAM(ワンチーム)』を掲げ、予選リーグを全勝として初の突破、さらには8強入りを果たし、台風による被害が続く日本に明るい話題を提供してくれました。今後の益々の活躍が期待されます。

また、第74回国民体育大会『いきいき茨城ゆめ国体』が茨城県を舞台に開催され、茨城県代表は天皇杯・皇后杯ともに手中に収める結果となりました。当村では、デモンストレーションスポーツのデイスクゴルフが開催され、大勢の選手が競技を楽しみました。

そして、美浦村の知名度向上やイメージアップのために、女優の棚橋幸代さんを三人目となるふるさと大使として任命しました。今後は阿井英二郎さん、みほーす、棚橋幸代さんの三人体制でそれぞれの仕事や活動の機会を通して、美浦村の魅力を折に触れてPRするとともに村内外のイベントなどに参加して美浦村の知名度を上げ、明るい話題を全国に

発信していただきたいと思っております。ふるさと大使の益々の活躍を期待しております。

全国の町村では少子高齢化が進み、深刻な状況が続いています。しかし、先人たちが守ってきた伝統文化の継承や自然環境の保全は、私たちが担っていくかねばなりません。魅力ある地域社会を継続していくためには、住民と行政が手を携え、主体的・自立的に施策を展開していくことが不可欠であり、それが基礎自治体たる美浦村の発展に繋がります。霞ヶ浦をはじめとする自然豊かな景観は、人々の心に癒しと安らぎを与えてくれます。この素晴らしい環境を未来に繋いでいきましょう。これからも、特色ある、魅力あふれる施策を実施していきたいと考えております。

今後も「地域主権」の確立に向けて村民の皆さま自らがまちづくりに参加され、行政と村民の皆さまが『ONE TEAM』となり、ともに発展していけるよう最大限努力してまいります。住民が主役の村政へのご支援ご協力を心よりお願い申し上げますとともに、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和二年 新春